

③一般国道56号（四国横断自動車道）
佐賀大方道路

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現払・B P・その他の別
四国横断自動車道 四国縦貫自動車道	いよ小松JCT ～高和JCT	L=291.0km	二次改築	B P

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
6,300～13,200	2・4車線	四国地方整備局

① 費用

基準年	事業費	維持管理費	合計
		平成28年度	
単純合計	1,664億円	442億円	2,106億円
基準年における 現在価値 (C)	1,298億円	137億円	1,435億円

② 便益

基準年	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
	平成28年度			
供用年	平成31年度、平成32年度、平成33年度、平成37年度、平成39年度、平成42年度			
単年便益 (初年便益)	10億円	1.3億円	0.5億円	12億円
基準年における 現在価値 (B)	1,661億円	243億円	88億円	1,991億円

③ 結果

費用便益比 (B/C)	1.4
経済的純現在価値 (B-C)	556億円
経済的內部収益率 (EIRR)	6.3%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	6,300～13,200	±10%	1.2～1.5
事業費	1,664億円	±10%	1.3～1.5
事業期間	13年	±20%	1.3～1.5

交通状況の変化

事業名：いよ小松JCT～高知JCT

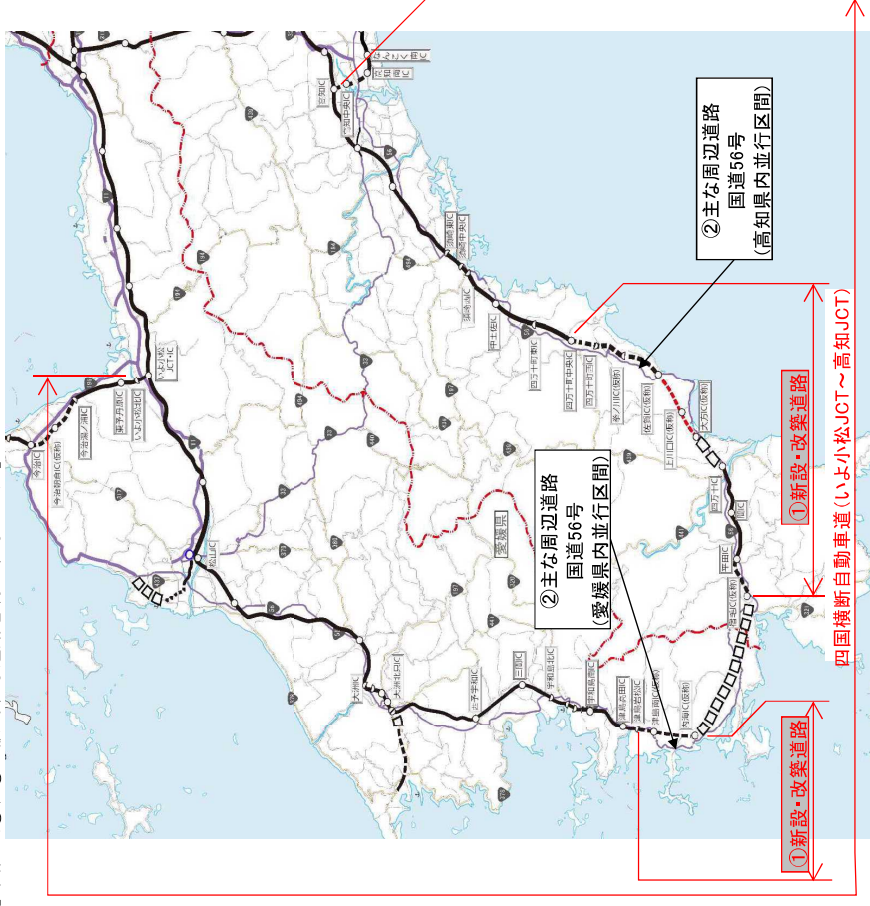
(推計時点 H42年)

		整備なし(A)		整備あり(B)	
①新設・改築道路 [ハイパス等]	交通量※1	[台/日]	—	9,100	
	走行時間※2	[分]	—	53	
	走行時間費用※3	[億円/年]	—	86.16	
	交通量	[台/日]	7,400	1,900	
	走行時間	[分]	129	118	
	走行時間費用	[億円/年]	170.78	36.36	
	交通量	[台/日]	7,000	1,900	
	走行時間	[分]	31	29	
	走行時間費用	[億円/年]	39.64	9.42	
	交通量	[台/日]			
②主な周辺道路 国道56号 (愛媛県内並行区間)	交通量	[台/日]			
	走行時間	[分]			
	走行時間費用	[億円/年]			
	交通量	[台/日]			
	走行時間	[分]			
	走行時間費用	[億円/年]			
	交通量	[台/日]			
	走行時間	[分]			
	走行時間費用	[億円/年]			
	走行時間費用	[億円/年]	16,352.61	16,318.29	
③その他 道路合計					
走行時間短縮便益	[億円/年]	16,563.03	16,450.23	112.80	
合計	13025.4km				

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

事業名：いよ小松JCT～高知JCT

【 図面 ①、②に該当する道路を明示すること 】



費用便益分析の条件

事業名：いよ小松JCT～高知JCT

(2)

項目	チェック欄
算出マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局) その他	■ <input type="checkbox"/>
分析の対象期間	50年間
社会的割引率	4%
基準年次	平成28年度
交通流の推計時点	1時点のみ推計 複数時点での推計
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計
	整備の有無のいずれかのみ推計 いずれかのみ推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法) パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法) その他()
開発交通量の考慮	無
	有 有の場合のみ 考慮した理由を記載
交通流推計	Q-V式を用いた配分
	転換率式を用いた配分
配分交通量の推計手法	Q-V式と転換率式の併用による配分
	均衡配分(リンクパフォーマンズ関数を用いた配分)
	簡易手法 小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等) その他()
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定
	採用理由を記載 交通量推計結果について、交通容量(Qmax)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)内の路線等が存在した配分結果となっていたため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。
最終配分の速度	採用理由を記載
その他()	<input type="checkbox"/>

事業名：いよ小松JCT～高知JCT

(3)

項目	チェック欄
休日交通の影響	考慮しない
	考慮する 面的に考慮 対象路線のみ考慮 採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載
災害等による通行止めの影響	考慮しない
	考慮する 採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載 とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載
冬期交通の影響	考慮しない
	考慮する 採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載 冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載
交通流推計の 時点以外の 便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定
	その他()
車種別時間 価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること
車種別走行 経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること
交通事故減少 便益算定	中央分離帯の有無を考慮
	中央分離帯の有無を考慮しない
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)
その他	<input type="checkbox"/>

便 益 の 算 定

事業費	項目	チェック欄
維持管理費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>
	標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>
	その他(概略事業計画による値を採用)	<input checked="" type="checkbox"/>
雪害費	維持管理費の設定根拠を記載	<input type="checkbox"/>
	当該区間を管轄する事務所における直轄国道維持管理費実績に基づき算出	<input checked="" type="checkbox"/>
費用の算定	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>
	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>
	考慮する	<input type="checkbox"/>
その他	事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
	維持管理費を考慮 <small>当該道路整備が行われない場合の費用を考慮しない(理山及び専念方を記載(別表内添、費用等))</small>	<input type="checkbox"/>
4. その他	考慮する 場合のみ	<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>

費用の現在価値算定表

箇所名:いよ小松JCT～高知JCT

年次	年度	割引率	GDP デフレ率	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単価価値	現在価値	単価価値	現在価値
-3年目	H 28	1.0000	93.3	0.00	0.14	70.2	9.56
-2年目	H 29	0.9615	93.3	86.38	0.00	0.00	0.00
-1年目	H 30	0.9246	93.3	143.18	132.39	0.00	0.00
供用開始年次	H 31	0.8890	93.3	190.70	169.53	0.68	0.60
供用開始年次	H 32	0.8548	93.3	273.12	233.46	1.60	1.37
供用開始年次	H 33	0.8219	93.3	110.06	90.46	2.93	2.41
3年目	H 34	0.7903	93.3	101.13	79.92	2.93	2.32
4年目	H 35	0.7599	93.3	109.36	83.10	2.93	2.23
5年目	H 36	0.7307	93.3	106.95	78.15	2.93	2.14
供用開始年次	H 37	0.7026	93.3	129.40	90.92	3.95	2.78
7年目	H 38	0.6756	93.3	156.37	105.64	3.95	2.67
供用開始年次	H 39	0.6496	93.3	44.71	29.05	5.51	3.58
9年目	H 40	0.6246	93.3	108.97	68.06	5.51	3.44
10年目	H 41	0.6006	93.3	103.41	62.11	5.51	3.31
供用開始年次	H 42	0.5775	93.3			8.85	5.11
12年目	H 43	0.5553	93.3			8.85	4.91
13年目	H 44	0.5339	93.3			8.85	4.72
14年目	H 45	0.5134	93.3			8.85	4.54
15年目	H 46	0.4936	93.3			8.85	4.37
16年目	H 47	0.4746	93.3			8.85	4.20
17年目	H 48	0.4564	93.3			8.85	4.04
18年目	H 49	0.4388	93.3			8.85	3.88
19年目	H 50	0.4220	93.3			8.85	3.73
20年目	H 51	0.4057	93.3			8.85	3.59
21年目	H 52	0.3901	93.3			8.85	3.45
22年目	H 53	0.3751	93.3			8.85	3.32
23年目	H 54	0.3607	93.3			8.85	3.19
24年目	H 55	0.3468	93.3			8.85	3.07
25年目	H 56	0.3335	93.3			8.85	2.95
26年目	H 57	0.3207	93.3			8.85	2.84
27年目	H 58	0.3083	93.3			8.85	2.73
28年目	H 59	0.2965	93.3			8.85	2.62
29年目	H 60	0.2851	93.3			8.85	2.52
30年目	H 61	0.2741	93.3			8.85	2.43
31年目	H 62	0.2636	93.3			8.85	2.33
32年目	H 63	0.2534	93.3			8.85	2.24
33年目	H 64	0.2437	93.3			8.85	2.16
34年目	H 65	0.2343	93.3			8.85	2.07
35年目	H 66	0.2253	93.3			8.85	1.99
36年目	H 67	0.2166	93.3			8.85	1.92
37年目	H 68	0.2083	93.3			8.85	1.84
38年目	H 69	0.2003	93.3			8.85	1.77
39年目	H 70	0.1926	93.3			8.85	1.70
40年目	H 71	0.1852	93.3			8.85	1.64
41年目	H 72	0.1780	93.3			8.85	1.57
42年目	H 73	0.1712	93.3			8.85	1.51
43年目	H 74	0.1646	93.3			8.85	1.46
44年目	H 75	0.1583	93.3			8.85	1.40
45年目	H 76	0.1522	93.3			8.85	1.35
46年目	H 77	0.1463	93.3			8.85	1.29
47年目	H 78	0.1407	93.3			8.85	1.24
48年目	H 79	0.1353	93.3			8.85	1.20
49年目	H 80	0.1301	93.3			8.85	1.15
50年目	H 81	0.1251	93.3			8.17	1.02
51年目	H 82	0.1203	93.3	-11.28	-1.36	7.25	0.87
52年目	H 83	0.1157	93.3			5.92	0.68
53年目	H 84	0.1112	93.3			5.92	0.66
54年目	H 85	0.1069	93.3			5.92	0.63
55年目	H 86	0.1028	93.3	-4.77	-0.49	5.92	0.61
56年目	H 87	0.0989	93.3	-34.71	-3.30	4.90	0.48
57年目	H 88	0.0951	93.3			3.34	0.47
58年目	H 89	0.0914	93.3			3.34	0.47
59年目	H 90	0.0879	93.3			3.34	0.47
60年目	H 91	0.0845	93.3			3.34	0.47
合計				1,560.81	1,297.99	442.40	137.22
単純事業費計				1,663.76		442.40	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業区間とは異なることがある。

(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

道路ネットワークの防災機能の向上効果計測の結果

Table with 5 columns: 路線名, 事業名, 延長, 事業種別, 事業主体. Includes details for 四国縦貫自動車道 and 高知JCT.

① 期待所要時間

Table showing expected time (期待所要時間) for various points (main, support, and disaster points) under current and future network conditions.

② 脆弱度・評価レベル

Table showing vulnerability (脆弱度) and evaluation level (評価レベル) for various points under current and future network conditions.

③ 改善度

Table showing improvement degree (改善度) for various points, including disaster points and support points.

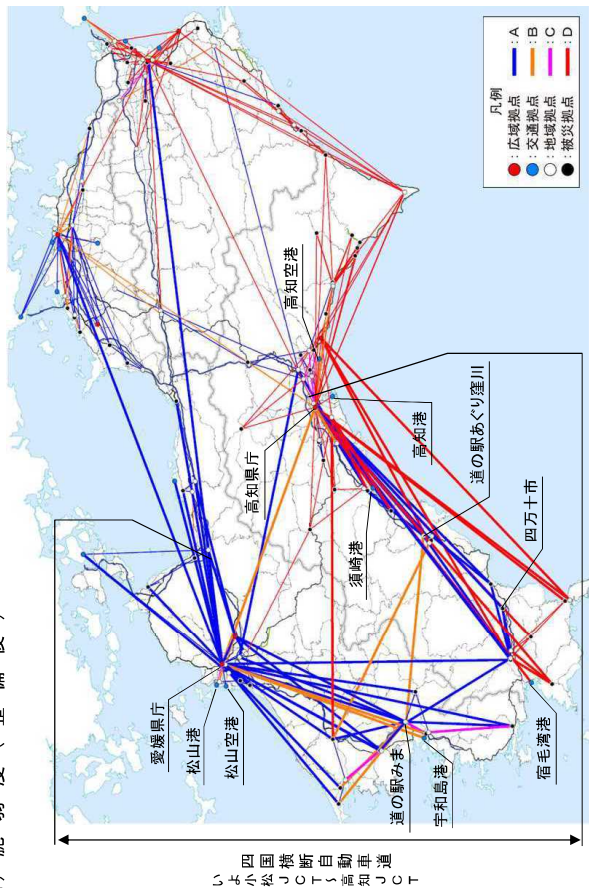
便益の現在価値算定表

箇所名: いよ小松JCT~高知JCT

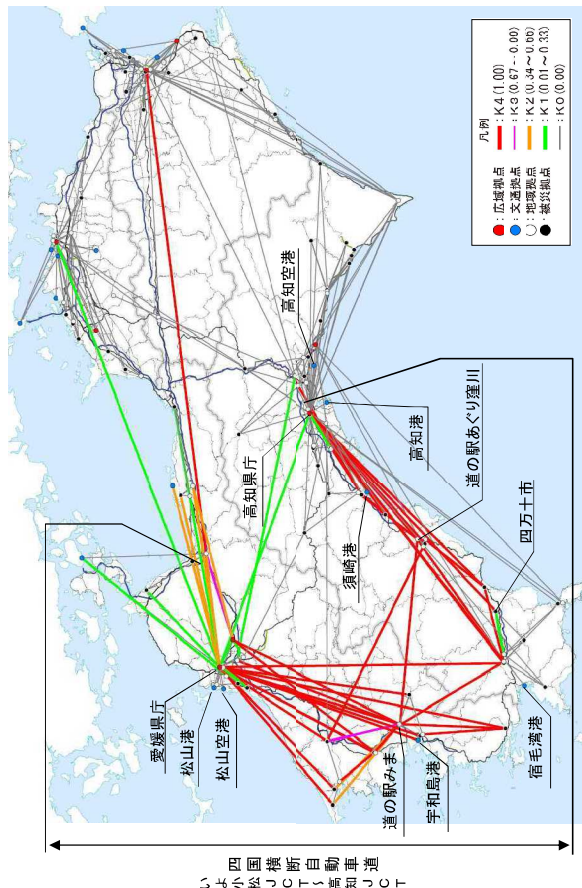
Large table for benefit present value calculation (便益の現在価値算定表) with columns for year, traffic volume, and various benefit metrics.

事業名：四国横断自動車道(いよ小松JCT～高知JCT)

(1) 脆弱度 (整備後)



(2) 改善度 (災害時)



災害危険箇所毎の脆弱度の変化

事業名：四国横断自動車道(いよ小松JCT～高知JCT)

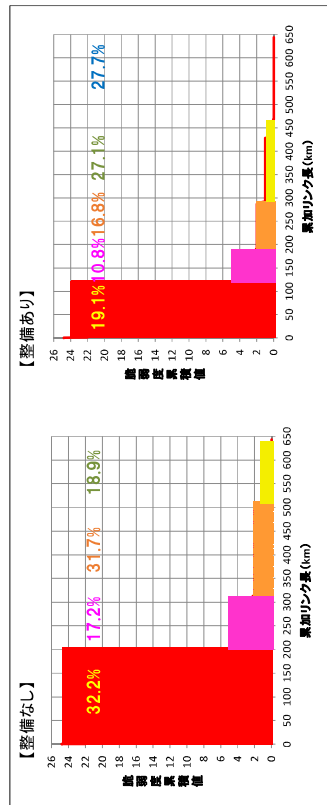
主な脆弱箇所	整備なし		整備あり	
	① 脆弱度	② 脆弱度	③=①×② 脆弱度	④ 脆弱度
くほかわ病院	1.00	22.0	22.03	0.0
高知県庁	1.00	50.1	50.07	0.0
道の駅めぐり窪川 運動公園	1.00	23.7	23.75	0.0
その他の脆弱箇所			1353.73	
累積脆弱度の合計			1449.58	128.79

※1 各脆弱箇所を結ぶ最短経路のうち、災害危険箇所が存在するリンク延長(km)
 ※2 道路整備によって影響を受ける脆弱箇所間の脆弱度と災害危険箇所間の延長の積(km)

脆弱度の累積値分布



累積脆弱度の変化



※凡例の順値は、「整備なし」のケースにおいて、脆弱度累積値を有するリンクを対象に、値が大きい方から並べた上で、累積リンク延長を4等分した際の境界値を基に設定。

道路ネットワークの防災機能の向上効果の計測条件

項目		チェック欄
算出マニュアル	道路ネットワークの防災機能の向上効果計測マニュアル(案) (平成28年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>
評価対象	その他 <input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	区間(四国横断自動車道(いよ小松JCT~高知JCT)) 基準年次 道路リンクの構成	平成28年 <input checked="" type="checkbox"/> (DRM2503)
リンク切断条件	地震	<input checked="" type="checkbox"/>
	津波	<input checked="" type="checkbox"/>
	対象災害 豪雨・豪雪	<input checked="" type="checkbox"/>
	火山 その他()	<input type="checkbox"/>
	シナリオ設定の考え方	<input type="checkbox"/>
速度設定の考え方	規制速度	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
拠点の設定	補足的な 拠点の設定	<input type="checkbox"/>
	面的な 拠点の設定	考慮しない 考慮する(被災する拠点の最寄りIC) <input checked="" type="checkbox"/>
	考慮しない	考慮する(<input type="checkbox"/>
	考慮する(w=1.0)	<input checked="" type="checkbox"/>
分散パラメータ	平常時	<input type="checkbox"/>
	1.0 その他()	<input checked="" type="checkbox"/>
	災害時	<input type="checkbox"/>
	0.1 その他()	<input checked="" type="checkbox"/>
算定する経路集合	第一経路、第二経路	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現払・B.P.・その他の別
一般国道56号	佐賀大分道路	L=14.0km	二次改築	B P

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
7,000~9,200	2	四国地方整備局

① 費用		維持管理費	合計
基準年	事業費	平成28年度	
単純合計	538億円	78億円	616億円
基準年における 現在価値 (C)	402億円	23億円	425億円

② 便益		走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年			平成28年度		
供用年			平成39年度		
単年便益 (初年便益)	28億円	4.1億円	1.8億円		33億円
基準年における 現在価値 (B)	357億円	53億円	22億円		432億円

③ 結果

費用便益比 (B/C)	1.02
経済的純現在価値 (B-C)	7億円
経済的內部収益率 (EIRR)	4.1%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	7,000~9,200	±10%	0.9~1.2
事業費	538億円	±10%	0.9~1.1
事業期間	10年	±20%	0.96~1.1

交通状況の変化
事業名：一般国道56号 佐賀大方向路

(推計時点 H42年)

		整備なし(A)		整備あり(B)	
①新設・改築道路 一般国道56号 佐賀大方向路 : 14.0km	交通量※1 [台/日]				7,982
	走行時間※2 [分]				11
	走行時間費用※3 [億円/年]				14.98
	交通量	[台/日]	7,443		829
	走行時間	[分]	31		28
	走行時間費用	[億円/年]	41.30		3.73
	交通量	[台/日]			
	走行時間	[分]			
	走行時間費用	[億円/年]			
	交通量	[台/日]			
②主な周辺道路※4	交通量	[台/日]			
	走行時間	[分]			
	走行時間費用	[億円/年]			
	交通量	[台/日]			
	走行時間	[分]			
	走行時間費用	[億円/年]			
	交通量	[台/日]			
	走行時間	[分]			
	走行時間費用	[億円/年]			
	走行時間費用	[億円/年]	72.33		67.73
③その他道路合計：203.9km					

		走行時間費用 整備なし(A)		走行時間費用 整備あり(B)	
合計：235.2km	走行時間短縮便益 [億円/年]	113.63	86.44	走行時間短縮便益 (A - B) 27.19	

- ※1：当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2：配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3：費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4：当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

(2) 図面 (①、②)に該当する道路を明示すること



費用便益分析の条件

事業名：一般国道56号 佐賀大方道路

(2)

項目	チェック欄
算出マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
その他	<input type="checkbox"/>
分析対象期間	50年間
社会的割引率	4%
基準年次	平成28年度
交通流の推計時点	1時点のみ推計 複数時点での推計
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計
	整備の有無のいずれかのみ推計 いずれかのみの推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法) パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法) その他()
交通流推計	無
	有 有の場合のみ 考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分
	転換率式を用いた配分 Q-V式と転換率式の併用による配分 均衡配分(リンクパフォーマンズ関数を用いた配分) 簡易手法 小規模事業である 簡易手法の採択理由 山間部海岸部で併行道路が少ない その他() 簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)
速度設定の考え方	その他()
	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載 交通量推計結果について、交通容量(Omax)以上の路線、交通容量(Omin~Omax)内の路線等が混在した配分結果となっているため、便益算出においては、速度差を生ずる「加重平均速度」を用いた。
最終配分の速度	採用理由を記載
その他()	<input type="checkbox"/>

事業名：一般国道56号 佐賀大方道路

(3)

項目	チェック欄
休日交通の影響	考慮しない
	考慮する 面的に考慮 対象路線のみ考慮 考慮する場合のみ 採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載
災害等による通行止めの影響	考慮しない
	考慮する 採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載 とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載
冬期交通の影響	考慮しない
	考慮する 採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載 冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定
	その他()
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用 独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること
	費用便益分析マニュアルの値を使用 独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮
	中央分離帯の有無を考慮しない
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)
その他	

便益の算定

(4)

項目	チェック欄
事業費	□
維持管理費	□
雪害費	■
費用の算定	□
当該道路整備が行われな場合の費用	□
事業費を考慮 維持管理費を考慮 当該道路整備が行われな場合の費用を考慮した田及び帯を考慮(対策内容、費用等)	□
考慮する 場合のみ	□
考慮しない	□
積雪地域または寒冷地域である	□
当該区間を管轄する事務所における直轄国道維持管理費実績に基づき算出	■
維持管理費の設定根拠を記載	■
その他(概略事業計画による値を採用)	■
標準投資パターンを採用	□
詳細事業計画による値を採用	□

費用の現在価値算定表

箇所名：一般国道56号 佐賀大方向路

維持管理費の単価(道路管理費相当額を含む)

年次	年度	割引率	GDP	事業費		維持管理費		単価(億円)	延長(km)	単価(億円)
				単価(億円)	現在価値	単価(億円)	現在価値			
-10年目	H 29	0.9615	93.3	0.93	0.89	1.68	14.0	1.68		
-9年目	H 30	0.9246	93.3	7.97	7.36					
-8年目	H 31	0.8890	93.3	28.75	25.56					
-7年目	H 32	0.8548	93.3	37.27	31.86					
-6年目	H 33	0.8219	93.3	46.85	38.51					
-5年目	H 34	0.7903	93.3	61.10	48.29					
-4年目	H 35	0.7599	93.3	74.60	56.69					
-3年目	H 36	0.7307	93.3	71.82	52.48					
-2年目	H 37	0.7026	93.3	100.45	70.58					
-1年目	H 38	0.6756	93.3	108.52	73.32					
供用開始年次	H 39	0.6496	93.3			1.56		1.01		
1年目	H 40	0.6246	93.3			1.56		0.97		
2年目	H 41	0.6006	93.3			1.56		0.94		
3年目	H 42	0.5775	93.3			1.56		0.90		
4年目	H 43	0.5553	93.3			1.56		0.87		
5年目	H 44	0.5339	93.3			1.56		0.83		
6年目	H 45	0.5134	93.3			1.56		0.80		
7年目	H 46	0.4936	93.3			1.56		0.77		
8年目	H 47	0.4746	93.3			1.56		0.74		
9年目	H 48	0.4564	93.3			1.56		0.71		
10年目	H 49	0.4388	93.3			1.56		0.68		
11年目	H 50	0.4220	93.3			1.56		0.66		
12年目	H 51	0.4057	93.3			1.56		0.63		
13年目	H 52	0.3901	93.3			1.56		0.61		
14年目	H 53	0.3751	93.3			1.56		0.59		
15年目	H 54	0.3607	93.3			1.56		0.56		
16年目	H 55	0.3468	93.3			1.56		0.54		
17年目	H 56	0.3335	93.3			1.56		0.52		
18年目	H 57	0.3207	93.3			1.56		0.50		
19年目	H 58	0.3083	93.3			1.56		0.48		
20年目	H 59	0.2965	93.3			1.56		0.46		
21年目	H 60	0.2851	93.3			1.56		0.44		
22年目	H 61	0.2741	93.3			1.56		0.43		
23年目	H 62	0.2636	93.3			1.56		0.41		
24年目	H 63	0.2534	93.3			1.56		0.40		
25年目	H 64	0.2437	93.3			1.56		0.38		
26年目	H 65	0.2343	93.3			1.56		0.37		
27年目	H 66	0.2253	93.3			1.56		0.35		
28年目	H 67	0.2166	93.3			1.56		0.34		
29年目	H 68	0.2083	93.3			1.56		0.32		
30年目	H 69	0.2003	93.3			1.56		0.31		
31年目	H 70	0.1926	93.3			1.56		0.30		
32年目	H 71	0.1852	93.3			1.56		0.29		
33年目	H 72	0.1780	93.3			1.56		0.28		
34年目	H 73	0.1712	93.3			1.56		0.27		
35年目	H 74	0.1646	93.3			1.56		0.26		
36年目	H 75	0.1583	93.3			1.56		0.25		
37年目	H 76	0.1522	93.3			1.56		0.24		
38年目	H 77	0.1463	93.3			1.56		0.23		
39年目	H 78	0.1407	93.3			1.56		0.22		
40年目	H 79	0.1353	93.3			1.56		0.21		
41年目	H 80	0.1301	93.3			1.56		0.20		
42年目	H 81	0.1251	93.3			1.56		0.20		
43年目	H 82	0.1203	93.3			1.56		0.19		
44年目	H 83	0.1157	93.3			1.56		0.18		
45年目	H 84	0.1112	93.3			1.56		0.17		
46年目	H 85	0.1069	93.3			1.56		0.17		
47年目	H 86	0.1028	93.3			1.56		0.16		
48年目	H 87	0.0989	93.3			1.56		0.15		
49年目	H 88	0.0951	93.3			1.56		0.15		
合計						503.56	-34.71	78.00		
単純事業費計						538.27		78.00		

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地、工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

道路ネットワークの防災機能の向上効果計測の結果

Table with 5 columns: 路線名 (Route Name), 事業名 (Project Name), 延長 (Length), 事業種別 (Project Type), 現況・BP・その他の別 (Status/Category), 事業主体 (Operator). Example: 一般国道66号, 佐賀大万道路, L=14.0km, 二次改築, BP, 四国地方整備局

① 期待所要時間

Table with 5 columns: 主要拠点ペア (Main Node Pairs), 期待所要時間(分) (Expected Time in minutes), 現況ネットワーク (Current Network), 将来ネットワーク (Future Network), 災害時 (Disaster Time), 平常時 (Normal Time), 災害時 (Disaster Time), 平常時 (Normal Time). Example: 黒潮町, 黒潮町, 30.2, 20.7, 20.7, 80.9

② 脆弱度・評価レベル

Table with 5 columns: 主要拠点ペア (Main Node Pairs), 脆弱度 (脆弱度), 評価ランク (評価ランク), 脆弱度 (脆弱度), 評価ランク (評価ランク), 整備あり (整備あり), 整備なし (整備なし). Example: 黒潮町, 黒潮町, 1.00, D, 1.00, A

③ 改善度

Table with 5 columns: 主要拠点ペア (Main Node Pairs), 改善度 (改善度), 平常時 (平常時), 災害時 (災害時), 改善度 (改善度), 平常時 (平常時), 災害時 (災害時). Example: 黒潮町, 黒潮町, 0.31, 1.00, 0.11, 1.00

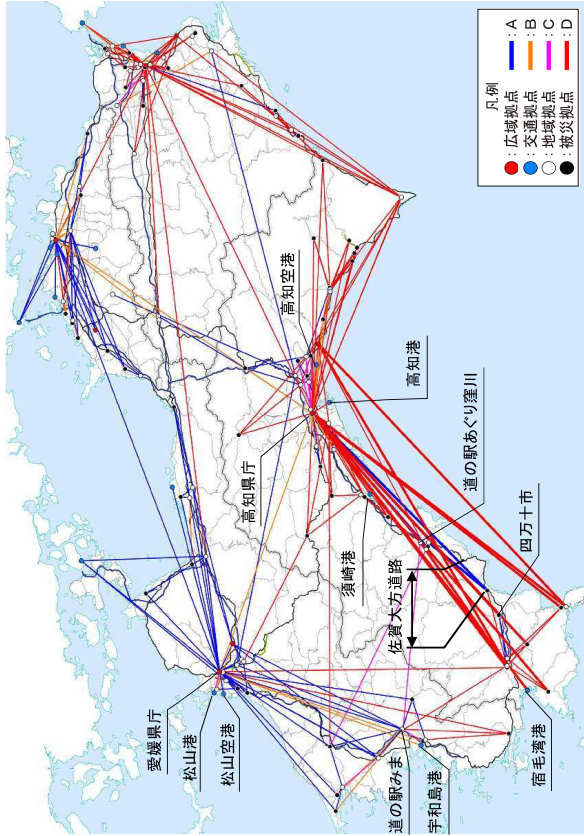
便益の現在価値算定表

箇所名：一般国道56号 佐賀大万道路

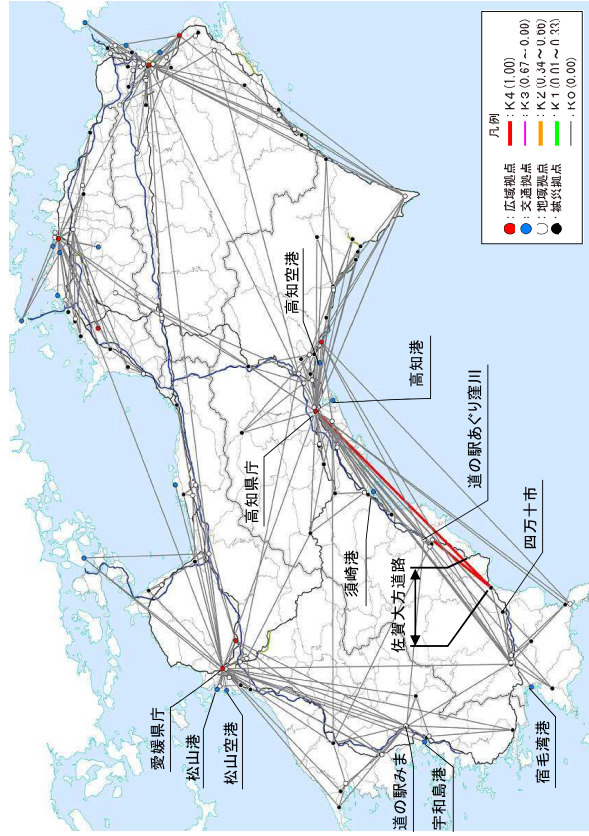
Large table for benefit calculation with columns: 年次 (Year), 基準年 (Base Year), 総走行台別の年次別伸び率 (Annual growth rate by vehicle type), 割引率 (Discount Rate), GDPデフレーター (GDP Deflator), 走行時間短縮便益 (走行時間短縮便益), 走行費用減少便益 (走行費用減少便益), 事故減少便益 (事故減少便益), 合計 (Total). It includes a detailed breakdown of vehicle types and various benefit metrics over time from 2018 to 2049.

事業名：一般国道56号 佐賀大方道路

(1) 脆弱度（整備後）



(2) 改善度（災害時）



災害危険箇所毎の脆弱度の変化

事業名：一般国道56号 佐賀大方道路

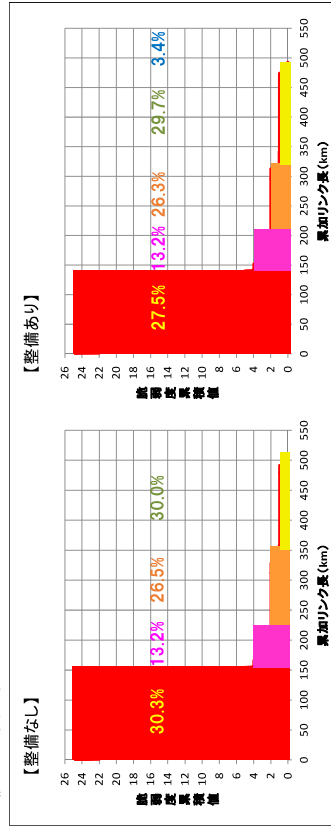
道路整備によって影響を受ける拠点ベア	整備なし		整備あり			
	① 拠点ベアの脆弱度	② 災害危険区間の延長※1	③=①×② 累積脆弱度※2	④ 拠点ベアの脆弱度	⑤ 災害危険区間の延長※1	⑥=④×⑤ 累積脆弱度※2
主な拠点ベア						
くぼかわ病院	1.00	17.2	17.23	0.00	0.0	0.00
黒潮町						
高知県庁	1.00	17.2	17.23	0.00	0.0	0.00
道の駅あぐり窪川						
道の駅あぐり窪川	1.00	18.9	18.94	1.00	4.5	4.52
宿毛市総合運動公園						
その他の拠点ベア			270.93			126.76
累積脆弱度の合計			324.33			131.28

※1 各拠点間を結ぶ最短経路のうち、災害危険箇所が存在するリンク延長(km)
 ※2 道路整備によって影響を受ける拠点ベアの脆弱度と災害危険区間の延長の積(km)

脆弱度の累積値分布



累積脆弱度の変化



※凡例の階層は、「整備なし」のケースにおいて、脆弱度累積値を有するリンクを対象に、値が大きい方から並べた上で、累積リンク延長を4等分した際の境界値を基に設定。

道路ネットワークの防災機能の向上効果の計測条件

項目		チェック欄
算出マニュアル	道路ネットワークの防災機能の向上効果計測マニュアル(案) (平成28年2月 国土交通省 道路局 都市局)	■
評価対象	その他	□
分析の基本的事項	区間(一般国道56号 佐賀大分道路)	■
	基準年次	平成28年
リンク切断条件	道路リンクの構成	■ (DRM2503)
	地震	■
	津波	■
	対象災害 豪雨・豪雪	■
リンク切断条件	火山	□
	その他()	□
シナリオ設定の考え方	その他()	□
速度設定の考え方	規制速度	■
	その他()	□
拠点の設定	補足的な	□
	拠点の設定	□
	面的な	■
	拠点の設定	□
拠点の重み	考慮しない(w=1.0)	■
	考慮する()	□
分散パラメータ	平常時	1.0
	その他()	□
	災害時	0.1
算定する経路集合	第一経路、第二経路	■
	その他()	□
その他		

路線名	箇所名	車線数	延長				
一般国道56号	佐賀大分道路	2	14.0km				
■ 事業費内訳 <全体事業費>							
区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考	
①工事費	改良費	土工	m ³	4,839,100	11,613	切土(2,460,000m ³ 、盛土(1,347,800m ³)、残土処理(1,031,300m ³)	
		軟弱地盤改良工	m ³	-	-	-	
		法面工	m	252,656	1,091	切土法面(130,160m ³)、盛土法面(100,990m ³)	
		擁壁工	式	1	1,122	補強生草、大基ブロック積、ブロック積、重方式擁壁、もたれ擁壁	
		管渠工	m	1,245	284		
		掘削工	m	367	480		
		排水工	m	44,165	662		
		中央分離帯工	m	8,122	504		
		雑工	式	1	213	工事用道路等	
		橋梁費				11,424	
			100m以上	m	910	7,301	9橋
			100m未満	m	978	4,124	16橋
		トンネル費				18,468	
			NATM	m	3,990	18,468	
IC・JCT費	シールド	m	-	-			
	IC	箇所	2	1,179			
舗装費	JCT	箇所	-	-			
	車道舗装	m ²	127,140	2,282			
付帯施設費	側道舗装	m ²	0	0			
	交通管理施設工	式	1	151			
②用地及補償費	遮音壁	m	-	-			
	用地費	m ²		4,501			
③間接経費	宅地	m ²	18,365	3,471			
	田畑	m ²	2,735	803			
	山林・原野	m ²	464,625	646			
	その他	m ²	115,764	1,984			
	補償費	式	1	1,030			
全体事業費				8,237	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費		
				57,855			

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道56号	佐賀大方道路	2	14.0km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	14.0	1,950	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	6,450	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			8,400	